

平成23年度 アクションプログラム実施メニュー取組結果表

沖縄森林管理署

取組名	生物多様性保全のための共同研究の取組（継続）	
流域名	沖縄北部、宮古八重山流域	
重点事項番号	⑤－53	
実施箇所及び実施日	国頭村外：平成23年4月17日～平成24年3月31日 西表島：平成23年4月17日～平成24年3月31日	
取組の背景及び必要性	南西諸島は希少野生動植物種の宝庫とされ、生物の多様性は極めて高く、国有林はその希少な野生動植物種の重要な生息地となっているため保全が必要である。	
取組の内容	<p><b>【全体の取組内容】</b> 取組予定期間：H22年度～H24年度 取組内容：希少野生動物種について、研究機関等と自動カメラ調査による共同研究を実施するとともに、生息地の把握及び生息環境の保全に取り組む。</p> <p><b>【これまでの取組内容】</b> 研究機関（琉球大学）と自動撮影カメラ調査（対象種：ヤンバルクイナ・イリオモテヤマネコ等）による共同研究を実施し、生息地の把握及び生息環境の保全に取り組んだ。</p> <p><b>【平成23年度の取組内容】</b> 研究機関（琉球大学）と自動撮影カメラ調査（対象種：ヤンバルクイナ・イリオモテヤマネコ等）による共同研究を実施し、生息地の把握及び生息環境の保全の取組を行った。</p>	
	国有林担当部局・役割	沖縄森林管理署  (データ収集及び取りまとめ)
	連携協働相手先・役割	<沖縄北部流域><宮古八重山流域> 琉球大学(自動撮影カメラ調査、データ解析及び研究助言)
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>&lt;沖縄北部流域&gt; 巡視における取組結果として、外来植物（アメリカハマグルマ・インパチェンス等）の侵入が観られることから、今後も巡視やモニタリング調査等を継続して実施する必要がある。</p> <p>&lt;宮古八重山流域&gt; イリオモテヤマネコを捕獲し、生息区域及び生息環境の把握を行い、その保全に取り組んだ。今後もモニタリング調査が必要なことから継続実施の必要がある。</p>	
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：森林の流域管理システム推進発表大会での発表等を通じてPR 効果：希少野生動植物種の保全の取組を発表したことにより、広く関係機関マスコミ等に、生物多様性保全の普及啓発が図られる。</p>	
取組の実施に要した経費（単位：千円）		
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担
合 計		

【 参 考 資 料 】

取 組 名	生物多様性保全のための共同研究の取組
-------	--------------------

○森林の流域管理システム推進発表大会の様子



○ヤンバルクイナ



○イリオモテヤマネコ



○カンムリワシ



○侵入が見られるアメリカハマグルマ



○侵入が見られるインパチェンス



## 平成23年度 アクションプログラム実施メニュー取組結果表

沖縄森林管理署

取組名	森林環境教育の実施（拡充）		
流域名	沖縄中南部、宮古八重山流域		
重点事項番号	⑥－61		
実施箇所及び実施日	宜野座村（第1回）：平成23年7月24日 那覇市立小学校（第2回）：平成23年8月22日 竹富町立小学校（第3回）：平成23年11月4日		
取組の背景及び必要性	小学生及び教諭を対象として、森林の働き及び校内樹木観察等を通して森林環境教育を推進。また、中学校で実施されている登山体験等の支援及び小学生や教諭を対象とした植物観察等を実施する。		
取組の内容	<b>【取組予定期間】</b> (1) 沖縄中南部流域：H19～H24年度 (2) 宮古八重山流域：H21～H24年度 <b>【これまでの取組内容】</b> 樹木名あてクイズ、地球温暖化防止、植物観察等の森林教室の実施、中学校の体験学習への支援を行った。 <b>【平成23年度の取組内容】</b> <沖縄中南部流域における取組> ダム祭りのイベント参加及び那覇市立小学校（少年野球チーム）に、森林クイズ及び親子木工教室などを実施し森林の働き・林業及び森林管理署の業務をPR。 <宮古八重山流域における取組> 竹富町立小学校の体験学習（ナーラの滝登山）において、当日の案内等で登山の安全指導を行い学校行事を支援した。また、小学生及び教諭に対して、植物観察等を通して森林教室を行った。		
	国有林担当部局・役割	<沖縄中南部流域> 沖縄署（森林教室の実施） <宮古八重山流域> 沖縄署（体験学習の支援、森林教室の実施）	
	連携協働相手先・役割	<沖縄中南部流域> 小学校（森林教室の実施） <宮古八重山流域> 小学校（体験学習の支援、森林教室の実施）	
取組の結果、反響、今後の課題等	教育関係機関と連携した森林環境教育を推進し、一定の評価を得た。		
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：署ホームページへ掲載 効果：児童の森林の働き等についての理解が深まる。		
取組の実施に要した経費（単位：千円）			
取組の概要（内訳）		国有林負担	相手先負担
合 計			

【参考資料】

取 組 名 森林環境教育の実施

○森林の働き等のパネル展示



○親子木工教室の様子



○親子木工教室の様子



○森林教室についてのアンケート記入



○体験学習支援の様子



○登山終点（ナーラの滝前）



平成23年度 アクションプログラム実施メニュー取組結果表

沖縄森林管理署

取組名	治山技術等の普及・啓発の取組（新規）	
流域名	宮古八重山流域	
重点事項番号	④－43	
実施箇所及び実施日	西表島：平成23年6月22日～平成24年3月16日	
取組の背景及び必要性	大型台風の襲来及び集中豪雨などにより西表島の国有林において山地崩壊等山地災害が多発しており、島民の生活の安全・安心に資するため、生態系に配慮した治山工事による復旧が急務となっている。	
取組の内容	<p><b>【全体の取組内容】</b>                  取組予定期間：H23年度～H24年度                  取組内容：山腹工事の施工に当たっては、木材を利用した木柵工、筋工を実施するとともに、西表島の生態系に配慮した緑化工法を実施する。                  また、治山事業における木材を利用した工法等を、PRする。</p> <p><b>【平成23年度の取組内容】</b>                  木製を利用した木柵工、筋工の実施により、木材の利用促進を図るとともに、山腹工の待ち受け型による法面緑化工法の導入により、治山技術等の普及啓発を図った。                  また、治山事業における木材を利用した工法等を、署ホームページに掲載しPRした。</p>	
	国有林担当部局・役割	沖縄森林管理署 (治山技術の普及啓発、木材の利用促進)
	連携協働相手先・役割	沖縄県、竹富町 (治山事業情報の提供等)
取組の結果、反響、今後の課題等	木材を利用した工法等により利用促進を図るとともに、法面緑化工法の導入により、治山技術等の普及啓発を図り、地域から一定の評価を得た。	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：署ホームページへ掲載 効果：緑化工法を導入した治山技術の普及啓発	
取組の実施に要した経費（単位：千円）		
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担
合 計		

【参考資料】

取組名 治山技術等の普及・啓発の取組

○木柵工着手前



○木柵工作業中（木製校倉組立状況）



○木柵工完了

